

令和5年度 府中市立新町小学校 授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ①国語では、「知識・技能」の中の漢字に、算数では、「数と計算」「図形」の定着に課題がある。
- ②学習に対する意欲は高いが、自分の考えをまとめたり、分かりやすく伝えたりすることが不得手な児童が多い。
- ③受け身なことが多く、学習したことを生かして自ら実践していくことに課題がある。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①基礎的、基本的な学習内容を確実に身に付け、活用する能力を育てる。
- ②課題を解決するための思考力、判断力、表現力を育むために、言語活動を重視した取組を進める。
- ③児童の個に応じた指導法を工夫し、分かる喜びや楽しさを体感させ、学習意欲の向上を図る。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- ①既習事項をもとにして、苦手なことにも粘り強く取り組み、基礎基本の力を身に付ける。
- ②既習事項を生かしながら自分の考えをまとめ、伝え合う。
- ③自分の考えを進んで伝え合うことを通して、さらに考えを広げたり深めたりして、自分の生活に生かしていく。

(2) 目指す授業像

- ①基礎・基本を定着させるために、授業のはじめ、朝学習、習熟の時間等を活用して漢字、計算等を繰り返し練習する。
- ②国語科「話すこと・聞くこと」の指導を中心に互いに考えや意見を話し合う学習活動を設定する。
- ③一人一台タブレット端末を効果的に活用し、個に応じた課題に取り組めるようにする。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	伝え合う力を高める指導を充実させる。そのために、互いの意見や考えを関わらせながら話し合う学習場면을効果的に設定する。	音楽	自分の思いや意図を言葉や音楽で伝え合ったり、演奏したりしながら、進んで音楽に関わり、表現の技能を高める。
算数	学習内容と既習事項を関連付けて考える活動を充実させて、算数科における基礎的・基本的な内容の定着を図る。	図画工作	形・色彩・イメージ等の視点をもって見る力を鍛え、自分や他者の考えを受け入れる機会を多く設けるとともに、学年に合った創造的技能の定着を図る。
社会	主な社会事象を身に付けるために、様々な資料を活用する。単元ごとに調べたことや考察をまとめる課題の設定を行い、自ら探求的に学ぶ。	家庭	自らの生活を見つめ、課題解決学習を通して、家庭生活への関心を高め、実践の技能を身に付ける。
理科	問題解決学習を展開する。問題を見出す場面や実験結果を共有し考察する場面では、児童同士が交流しながら問題について考えるようにする。	体育	主体的に学習に取り組む態度を養う。そのために、技能の習得度に合った複数の場を準備したり、児童同士で動きを見合ったりする時間を設定する。
生活	児童が体験から得た気づきを大切に、その気づきを広げたり深めたりするための表現方法や伝え合う場면을工夫する。	外国語	必然性のあるコミュニケーションを行うため、事実だけでなく自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動を通して、言語活動の充実を図る。

(2) 児童用タブレット端末の活用

- ・自分の課題を調べるときや調べたことをまとめるときにタブレットを活用する。
- ・授業の中でお互いが意見を出し合い、共有して考えを深めるためにタブレットを活用する。